

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人 聖ヨゼフ寮 聖ヨゼフ寮
------	-----------------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和5年9月16日

③事業者情報

名 称：社会福祉法人 聖ヨゼフ寮 聖ヨゼフ寮	種 別：児童養護施設
代表者氏名：理事長 横井 哲	定員（利用人数）29名（23名）
所在地：871-0162 中津市永添2646-4 TEL：0979-22-2320	

④総評

◇評価の高い点

【理念、基本方針が明文化され周知が図られている。】

理念や基本方針については、パンフレットやホームページに記載されている。職員への周知と理解について、2019年から養育理念実現に向けて、場面ごとの具体歴支援内容を整理した職員業務用ハンドブック作成に着手、2021年からは試用版として日々の業務確認に用いている。ハンドブック内の理念・方針説明では、キリスト教精神に基づいた施設は「愛する」を「ほめる」や「丁寧」を「場面ごと」など用語を置き換えた内容となっており、月曜日から金曜日の朝礼時に唱和を行い周知を図っている。子どもたちへも場面ごとにわかりやすく周知が図られている。

【養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。】施設長は、養育・支援の質の現状については、毎日評価・分析し朝礼の場で改善のための指示を行っている。職員養成として、たまごクラブ（新人職員）ひよこクラブ（2年～3年勤務者）中堅会（4年～5年勤務者）の体制を構築を行い、教育・研修の充実を図っている。

【子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。】

職員ハンドブックには、子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。子どもの尊重や基本的人権への配慮について、年間3回定研修会を実施。4月毎に権利擁護チェックシートを用いて確認を行っている。

【子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を行っている。】ライフストーリーワークに取り組み、心理士によって実施されており、写真は子供用のパソコンに記録されている。また、卒業時には記念としてアルバムが作成され

空白が生じないような工夫がなされている。

【発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。】

支援計画に基づいて年齢や発達の状況、課題等に応じたプログラムが策定され、子どもたちのニーズに沿ってパソコンの導入や漫画や図鑑を揃えた図書が整備されている。希望する子どもには、週一回の頻度でボランティアが学習会を行っている。

◇改善を求められる点

【中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。】

中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標（ビジョン）を明確にし、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な計画内容を設定すること期待する。

【必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。】

必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針を定めることや養育・支援に関わる専門職（有資格の職員）の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画を検討することを期待する。

【安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。】

職員に対して、安全確保・事故防止に関する計画的な研修や事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行うことを期待する。

【子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。】

不適切なかかわりに対しての処遇や死角をなくす工夫がなされているが、職員間での周知徹底を図るためにも、仕組みなどの明文化に期待したい。

【基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。】

個々の子どもの状況に応じて、身近な職員が一定の裁量権を有することができるような体制づくりに期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

ご指摘いただいた改善内容に基づき、ケアの質向上を目指して今後も努力して参ります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）